

中野区教育委員会会議録

平成27年第10回臨時会

平成27年11月20日

中野区教育委員会

平成27年第10回中野区教育委員会臨時会

○日時

平成27年11月20日（金曜日）

開会 午前11時30分

閉会 午後0時04分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

○欠席委員

教育委員会委員 増田 明美

教育委員会委員 小林 福太郎

○出席職員

教育委員会事務局次長 奈良 浩二

教育委員会事務局副参事（子ども教育経営担当） 辻本 将紀

教育委員会事務局副参事（学校再編担当） 板垣 淑子

教育委員会事務局副参事（学校教育担当） 石濱 良行

教育委員会事務局指導室長 杉山 勇

教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当） 浅野 昭

○書記

教育委員会事務局教育委員会担当係長 金子 宏忠

教育委員会事務局教育委員会担当 高橋 綾菜

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 田中 英一

○傍聴者数

0人

○議題

1 協議事項

(1) 区立小中学校の施設整備方法について（学校再編担当）

○議事経過

午前 11 時 30 分開会

田辺教育長

それでは、定足数に達しましたので、教育委員会第 10 回臨時会を開会します。

本日の会議録署名委員は、田中委員にお願いします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

ここで、お諮りします。本日の協議事項、「区立小中学校の施設整備方法について」は、今後の整備計画に影響があることから、教育行政の運営の公正を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書により、非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ございませんので、非公開とすることに決定しました。

(以下、非公開)

(平成 27 年第 11 回臨時会における会議録の公開決定に基づき、以下非公開部分を公開)

<協議事項>

田辺教育長

それでは日程に入ります。

初めに、事務局から説明をお願いします。

副参事(学校再編担当)

それでは、「区立小中学校の施設整備方法について」、ご説明いたします。

資料をごらんください。

教育委員会では、中野区立小中学校再編計画(第 2 次)及び中野区立小中学校施設整備計画を策定し、区立小中学校の再編と施設整備を計画的に進めることとしております。

計画では、原則としまして大規模改修によって 30 年程度の長寿命化を図り、その後 30 年を経過した時点で改築するというようにしておりました。

この計画に基づきまして、平成 27 年度は二つの統合新校校舎の大規模改修工事に向けて検討を進めてまいりました。

この中で、現在の中野神明小校舎等の大規模改修では、体育館の改築について地域からの要望があり、統合後の使用年数や体育館の使い勝手等から、校舎の大規模改修とあわせて体育館の改築についても検討を行いました。また、校舎棟は給食室を増築することで、

既存不適格の解消とあわせて新たな耐震補強が必要となることが判明いたしました。

一方、現在の大和小校舎等の大規模改修におきましては、校地の北側から通学してくる児童の動線や、西棟校舎の使い勝手の問題等から、校舎を一部改築することも検討してまいりました。その場合、校舎の既存不適格の解消とあわせて中野神明小学校と同様に新たな耐震補強が必要となるということが判明しました。

現在の校舎を大規模改修するとともに、こうした教育環境向上のために必要な工事を行うと、中野神明小学校及び大和小学校の大規模改修では、想定を大幅に上回る金額になるということが考えられます。

そもそも、区立学校は昭和期の児童数学級数の増加に対応するため、これまで増改築を繰り返してまいりました。そのため構造が複雑になり、大規模改修施設と改築施設がこれから混在するということになりますと、維持管理が煩雑になる等の問題を抱えることにもなります。

また、大規模改修では子どもたちの動線や、校舎の使いやすさという面での改善を十分図ることができないということもあります。

大規模改修を改築とすることによって、多様な学習形態や活動に対応し、より安全で安心な教育環境を整備することが可能となります。また、財政負担は今後50年間の想定では、大規模改修後に改築した場合のトータルコストでは概ね1,100億円強という試算、それから改築では924億円程度という試算となりまして費用対効果も高いということが言えます。

また、区では、今後、新たな10か年計画におきまして、人口減少に歯止めをかける対策を講ずることとしており、5歳から15歳の人口が増加するということも想定しておく必要があります。

一定の児童・生徒数に対応できる学校施設を確保しつつ、多様な学習形態に対応できるような教育環境を整えていくためにも、原則として改築していく方向で検討を進めていきたいということです。

裏面をごらんください。

統合新校校舎への移転の時期の変更について、校舎の改築を行うため、中野神明小学校及び大和小学校の位置に予定している統合新校校舎への移転の時期は平成32年度に、多田小学校の位置に予定している統合新校への移転の時期は平成34年度に変更いたします。

なお、それ以外の再編対象校の統合新校への移転の時期への影響等につきましては、早急に調整し検討してまいります。

今後の予定ですが、平成 27 年 12 月区議会第 4 回定例会にこの内容を報告いたします。
その後、学校、PTA、保護者等へ周知してまいります。

以上でございます。

田辺教育長

それでは、各委員の皆さまからご意見を伺い、協議に入ります。

ご意見、ご質問等のご発言がありましたらお願いいたします。

渡邊委員

校舎の事情等から考えて、私も以前から大規模改修よりは改築のほうが本来は望ましいというふうに考えていたので、非常にいいことではないかというふうに思っております。

ただ、改築に当たって、大規模改修よりも期間が長いということで、もう一度確認したいのですけれども、多田小学校の位置に予定している統合新校に関して移転の時期は平成 34 年度、中野神明小及び大和小の位置に予定している統合新校への移転の時期は平成 32 年度にということなののですけれども、もともとの予定は何年度だったのでしょうか。

副参事（学校再編担当）

中野神明小学校と大和小学校ともに平成 31 年度に新しい校舎に移転する予定でした。

田辺教育長

多田小学校のほうは。

副参事（学校再編担当）

多田小学校につきましては、平成 33 年度です。

渡邊委員

今、確認をさせていただいたのですけれども、1 年間延びることによって、例えば、閉校について、例えば大和小学校を例にとらせていただいて、大和小学校は平成 29 年度に若宮小と統合して、それで若宮小学校の位置に移るのですけれども、その移転の時期についての検討は、現在、されているのでしょうか。

副参事（学校再編担当）

統合は予定どおり行いますので、平成 29 年度に大和小と若宮小、それから中野神明小と新山小と多田小それぞれ統合は予定どおり行います。

ですので、新しい校舎が出来て仮校舎から移転する時期が遅れるということになります。

渡邊委員

移転の時期については、年度で区切らざるを得ないだろうと思いますけれども、仮校舎

を使用する期間が長くなることで、我慢しなければいけない部分が多くなると思いますので、PTAや保護者の方々にご理解いただけるよう、よりよいものをつくるためということとを十分お話していただくとともに、統合となった学校にある程度配慮をしていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

田辺教育長

わかりました。ほかにございますか。

田中委員

私も、渡邊委員の意見に賛成で、財政的に可能であれば子どもたちの学習環境をよくするという意味で改築のほうが私はいいと思います。中野中学校を例にとっても既存の建物をいかに大幅に改修しても、やはりあのような施設にはなり得ないと思うので。将来のことを考えて、子どもたちのことを考えてぜひ改築の方向で進められればなというふうに思います。

それから、移転の時期なのですけれども、統合から移転までの期間が学校により異なりますが、これはやはり改築でもそれぞれ違う年月がかかるものなのですか。

副参事（学校再編担当）

新山小と中野神明小、多田小との統合については、中野神明小学校と新山小学校の統合新校が仮校舎で使用している、新山小学校の位置を出た後に多田小学校と新山小学校の統合新校が移って、その後、多田小の校舎を改築することになりますので、少し時期がずれております。

田中委員

わかりました。

田辺教育長

よろしいですか。ほかにございますか。

渡邊委員

大和小と若宮小との統合については、大和小の位置に戻ってきた後、今度は第四中と第八中との統合があるわけですが、それについての変更とかそういった点については、整備方法の変更をすることによって影響は出そうなのでしょうか。

副参事（学校再編担当）

資料裏面の2のな書き以下になりますけれども、今後、いろいろな影響等を考えて早急に調整して検討していくということになっております。

どこまで工期を短縮できるのかといったことも、今、検証している段階です。

渡邊委員

児童数とか学校活動にも影響が出てきますので、今回、具体的に検討してそういうつもりでいるとか、考えているということを示していただきたいなと思います。

副参事（学校再編担当）

今回は、スケジュールにつきましては、現在統合を進めている対象校についてのみ明らかにしていく必要があるというふうに考えておりました、それ以外の再編対象校につきましては、工期の工夫でありますとか、そういったことの検証を十分してから移転の時期等については明らかにしていきたいというふうに考えております。

渡邊委員

よろしくお願いたします。

田辺教育長

ほかにございますか。

田中委員

今回、統合を進めている学校が大規模改修から改築ということになって、今後、その後の統合校がやはり全部改築というふうな流れになってしまいますが、そういった懸念はどうなのでしょう。

副参事（学校再編担当）

統合する学校につきましては、改築を基本として考えていきたいというふうに思っておりますが、今回、統合しない学校もたくさんありますけれども、そこについては改めて検証して決めていくというふうに、原則としては統合する学校は改築ということで検討していきます。

田辺教育長

よろしいですか。

本日の協議を踏まえ、区立小中学校の施設整備方法について、取りまとめていきたいというふうに考えています。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第10回臨時会を閉じます。

午後0時04分閉会